

令和元年度 第4回全校研究会報告

日時 令和元年度 10月30日(水)14:30～16:00

第4回の全校研究会は、1週間後に開催される研究報告会リハーサルを兼ねて行いました。当日指導助言いただく大和大学教育学部教授落合俊郎先生にも御参加いただきました。

この研究報告会は、幅広く特別支援教育を知っていただきたいという趣旨で御案内してきました。現在、福祉関係者、行政関係者、企業関係者、地域の方々、保護者等、多方面にわたる方々からお申し込みをいただいているところです。

発表者は、研究テーマ「地域社会との連携協働の下で創造する喜びをともにする授業～多様性は可能性～」にどのように取り組んできたかをまとめて発表するとともに、他分野の方々にも伝わりやすいように工夫し、当日を意識した報告をしました。

実践報告 「地域社会と連携協働の下で創造する喜びをともにする授業～多様性は可能性」

●小学部 生活単元学習「9組報道局」

1学期に「9組報道局」を開局し、身近な先生へのインタビューや新聞づくりをしました。2学期は国語科の教科の視点を大切にしながら、長岡京消防署の見学しインタビューもしました。子どもたちが、わかって動ける場面が増え、他の場面でも活用できるようになってきています。



●中学部 生活単元学習「ICTを活用した授業」

肢体不自由のある生徒が在籍するクラスで将来の豊かな生活に向けて ICT を活用した、視覚、聴覚、臭覚、身体に働きかける授業を行ってきました。肢体不自由のある生徒の可能性を御覧ください。



●高等部 作業学習「農園芸 お役立ち活動」

作業学習の農園芸の授業で学んだことを生かし、地域の小学校の園芸ボランティア活動の手伝いをしています。「学校でつけた力を生かし、地域社会でも伝わるコミュニケーションの力をつける。」というねらいをもって取り組んでいます。



●地域社会連携部「地域社会と連携協働する授業」

地域社会連携部からは「地域社会の方々からの生の声」として動画を中心にお伝えしました。「学校ボランティアの会」「乙訓消防組合長岡京消防署」「花いっぱいボランティア」「高野竹工株式会社」「長岡京市環境の都づくり会議」の皆様インタビューの御協力いただき、地域社会の方々の思いをお聞きしています。



●研究協力者の落合先生より

「自信をもって笑顔で楽しめるようになってきている」「肢体不自由のある生徒の可能性を引き出す指導が素晴らしい」と児童生徒の変容について評価をいただきました。

また、「児童生徒が周囲の人を変容させ、共生社会が児童生徒を変容させる。新しいことに取り組み、それをアピールするこのような取組をとおして、世の中を変えていくことが重要」と研究の到達点について意味付けをしていただきました。

11月7日(いいな)研究報告会を どうぞお楽しみに！